

(第50期)

貸借対照表

(2018年3月31日現在)

旭ケミテック株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	111,351,462 円	(負債の部)	(56,697,281) 円
流動資産	107,897,823	流動負債	46,415,534
原材料及び貯蔵品	9,672,000	未払金	7,149,131
前払費用	441,797	未払法人税等	276,907
繰延税金資産	4,494,007	未払費用	27,290,954
立替	93,290,019	預り金	134,127
		賞与引当金	11,564,415
固定資産	3,453,639	固定負債	10,281,747
繰延税金資産	3,453,639	退職給付引当金	10,281,747
		(純資産の部)	(54,654,181)
		株主資本	54,654,181
		資本金	10,000,000
		利益剰余金	44,654,181
		利益準備金	1,760,000
		その他利益剰余金	42,894,181
資産合計	111,351,462	負債・純資産合計	111,351,462

(第50期)

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産

貯蔵品……総平均法による低価法
(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

……定額法

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

……ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法
……その他の無形固定資産は定額法

(3) リース資産 ……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理に寄っている。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金……従業員賞与については、支給期間に対応する見積額を計上している。

(2) 退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づき計上している。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用している。

(会計方針の変更に関する注記)

1. 当事業年度において会計方針の変更はない。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度の末日における発行済株式の総数

普通株式 12,000株

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産の発生は、退職給付引当金及び賞与引当金繰入超過額である。

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社及び法人主要株主等

属性	会社名	当該株式会社の議決権等の所有割合	当該関連当事者の議決権等の所有割合	当該関連当事者との関係	科目	期末残高(千円)
親会社	旭化成(株)	—	100%		未払金	7,149
親会社	旭化成(株)	—	100%	役務の提供	立替金	93,290